

# 豊島区子ども読書活動推進計画（第三次）

## 平成28年度 各課進捗状況

平成29（2017）年 9月

豊 島 区

# 目 次

第1部 計画の概要	1
1. 計画の目的	1
2. 計画の位置づけ	1
3. 計画の体系	1
4. 計画の重点分野	2
5. 計画の進捗管理	2
第2部 計画の実施状況	2
1. 数値目標	2
子どもの図書貸出冊数の状況	2
2. 計画事業	3
(1) 調査の実施	3
(2) 計画事業の所管課評価別の状況	3
(3) 計画事業の実施状況	3
(4) 計画策定後における新たな事業	3
別表1 所管課評価別の事業数	4
別表2 計画事業の実施状況	5
別表3 新規事業の計画	28

## 第1部 計画の概要

### 1. 計画の目的

豊島区は、平成18年3月に「子ども読書活動推進計画」を策定して施策を総合的に推進してきました。4年後の平成22年3月には、子どもの読書環境を取り巻く社会環境の変化に応じて計画を修正し、第二次計画として策定しました。

「豊島区子ども読書活動推進計画」(第三次)は、「一人ひとりの子どもが素晴らしい本と出合うことで、読書の魅力を発見する機会を提供し、生涯にわたる読書習慣を身に付けられるよう、発達段階に応じた読書機会の提供と読書環境の整備を図る」という第一次及び第二次推進計画で掲げた理念、目的を引継ぎ、子ども読書活動推進のための施策の方向性や取組みを示しています。

### 2. 計画の位置づけ

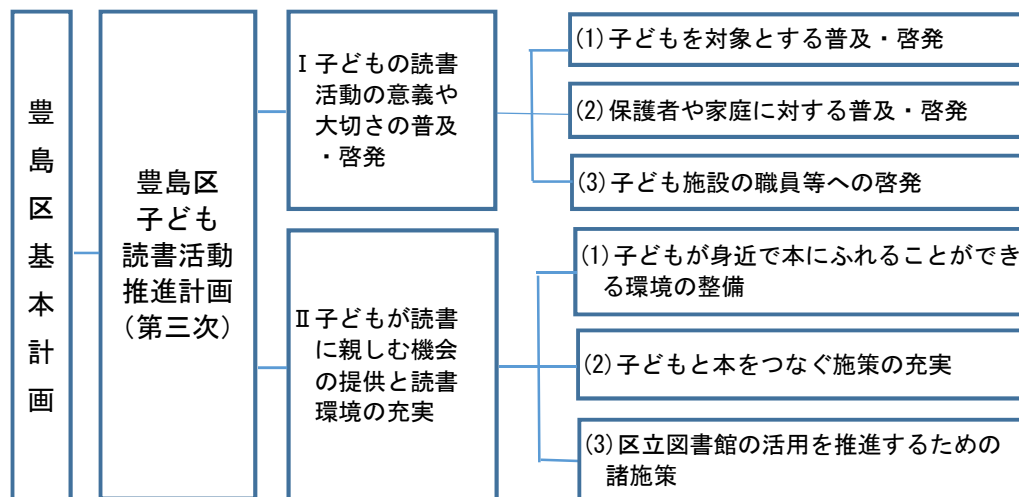
この計画は、「子どもの読書活動の推進に関する法律」に基づく市町村の計画であり、豊島区基本計画を補完する子ども読書活動分野の総合計画に位置づけられます。また、豊島区教育ビジョン2015－豊島区教育振興基本計画－、豊島区子どもプラン(豊島区子ども・子育て支援事業計画)をはじめ関連する計画との整合性を図っています。

### 3. 計画の体系

豊島区の子どもたちの読書活動や読書環境の現状を踏まえ、次の二つの目標を掲げ諸施策を体系的に整理しています。また、施策の体系に沿って、新規12事業を含め87の計画事業を掲げています。

- (1) 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発
- (2) 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

#### 【施策の体系】



#### 4. 計画の重点分野

本計画の施策の重点分野は、「読書活動に関する実態調査」の結果や国と東京都の動向を踏まえ、家庭における読書環境充実にかかる支援施策と小・中学生や高校生の読書活動推進にかかる諸施策に焦点をあてています。

#### 5. 計画の進捗管理

本計画の進捗管理については、子どもの読書活動の関係機関で構成される「子どもの読書活動推進会議」を中心に行い、各年度において実施状況を把握・点検しつつ、その後の施策の推進を図っていきます。

## 第2部 計画の実施状況

### 1. 数値目標

#### 【子どもの図書貸出冊数の状況】

##### ○区立図書館の子どもの図書貸出冊数

	平成 26 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
YA 書	68,846 冊	72,588 冊	73,000 冊
児童書	263,513 冊	315,273 冊	277,000 冊
合計	332,359 冊	387,861 冊	350,000 冊

##### ○学校図書館の図書貸出冊数

	平成 26 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
小学校	212,810 冊	253,040 冊	224,000 冊
中学校	9,824 冊	18,385 冊	11,000 冊
合計	222,634 冊	271,425 冊	235,000 冊

## 2. 計画事業

### (1) 調査の実施

平成 28 年度の実施状況を取りまとめるにあたり、子どもの読書活動推進事業を実施している庁内関係部局に対し、平成 29 年 5 月に調査を実施しました。

平成 28 年度の実施状況及び所管課評価、あわせて平成 29 年度以降の実施予定について調査しています。

・所管課の評価については、次の 4 区分に分類しました。

「A：想定以上」、「B：想定どおり」、「C：工夫や改善必要」、「D：未実施」

### (2) 計画事業の所管課評価別の状況

計画事業の所管課評価別の状況を別表 1（4 ページ）にまとめました。

87 事業のうち、	◇A：想定以上	19 事業
	◇B：想定どおり	48 事業
	◇C：工夫や改善必要	14 事業
	◇D：未実施	7 事業

となっています。

なお、1 事業について対象が小学生と中学生とでは、評価が異なっているため各評価別の合計が 88 事業となっています。

### (3) 計画事業の実施状況

計画事業を体系別に整理し、平成 28 年度の実施状況及び平成 29 年度以降の実施予定を別表 2（5～27 ページ）にまとめました。

### (4) 計画策定後における新たな事業

子どもの読書活動推進計画（第三次）は、平成 28 年 5 月に策定されましたが、その後取り組みの充実を図るために新たに実施する事業があります。

平成 29 年度から新たに実施する事業として「読書ノートの配付による読書活動促進」、「公民連携を活用したおはなし会の実施」の 2 事業の計画を別表 3（28 ページ）に掲載しました。

【 所管課評価別の事業数 】

別表 1

1 体系別

計画の体系	事業数(重点)	所管課の評価			
		A 想定以上	B 想定 どおり	C 工夫や 改善必要	D 未実施
I 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発	19項目 (7項目)	5	10	1	3
(1) 子どもを対象とする普及・啓発事業	4項目 (0項目)	1	2	1	0
(2) 保護者や家庭に対する普及・啓発	9項目 (7項目)	1	6	0	2
(3) 子ども施設の職員等への啓発	6項目 (0項目)	3	2	0	1
II 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実	68項目 (22項目)	14	38	13	4
(1) 子どもが身近で本にふれることができる環境の整備	※ 23項目 (7項目)	3	16	4	1
(2) 子どもと本をつなぐ施策の充実	39項目 (15項目)	9	20	7	3
(3) 区立図書館の活用を推進するための諸施策	6項目 (0項目)	2	2	2	0
総 計	87項目 (29項目)	19	48	14	7

※ 1事業については、対象が小学生と中学生では評価が異なる。

2 所管課別

所管課	事業数(重点)	実施状況(平成28年度)			
		A 想定以上	B 想定 どおり	C 工夫や 改善必要	D 未実施
地域区民ひろば課 ※	5項目 (1項目)	3	1		1
文化デザイン課	4項目	1	1	2	
学習・スポーツ課	1項目 (1項目)				1
図書館課 ※	44項目 (12項目)	10	20	10	4
池袋保健所(健康推進課)・長崎健康相談所	2項目 (1項目)		2		
子ども課	2項目		2		
子育て支援課	4項目 (2項目)	1	3		
保育課	6項目 (2項目)		6		
学務課(区立幼稚園含む) ※	2項目 (1項目)	2		1	
放課後対策課	4項目 (1項目)		2	1	1
指導課(区立幼稚園・小学校・中学校含む) ※	16項目 (10項目)	5	11		
計	90項目 (31項目)	22	48	14	7

※ 3事業については、2課が所管している。また、1事業については、対象が小学生と中学生では評価が異なる。

【 計画事業の実施状況 】

別表 2

I. 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

(1) 子どもを対象とする普及・啓発事業

課名の( )は平成28年度の所管課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
1			子ども向け図書利用案内の作成・配布	豊島区立図書館利用案内を〈小学校・幼稚園版〉と〈中学校版〉(新規)を作成し、幼稚園、小中学校へ配布し、区立図書館の利用を促進する。	小・幼稚園・中学生	毎年度、区立小学校新1年生に配布	中学校版を新規に作成	「ようこそとよかんへ」を区立小学校新1年生に配付した。	B: 想定どおり	中学校版は29年度に編集内容及び配付方法等を検討する。	29年度区立小学校新1年生に配付する。	図書館課
2			子ども向け各種行事の実施	子ども読書の日(4月23日)や文字・活字文化の日(10月27日)などの記念の日にちなむ行事を実施し、8月中旬には平和普及事業として関連図書の企画展示などをして、記念の日の意義や図書を周知・啓発する。	小学生	・子ども読書の日 ・文字・活字文化の日 ・平和普及事業	記念事業を実施	全館で、子ども読書の日(4月23日)、文字・活字文化の日(10月27日)の記念行事を実施した。	C: 工夫や改善必要	参加者数が低迷しており、事業実施日の設定や実施方法に改善の必要がある。	例年どおり定例の記念行事を開催するにあたり、事業内容を見直して実施する。	図書館課
3			区立小・中学校RCフェスタの開催	区立小・中学校、区立図書館と連携して「RC(Reading and Communication)フェスタ」を開催し、教育委員会推薦図書の普及・啓発、本との出会いや読書の楽しさを伝え、読書習慣の形成を図る。	小・中学生	実施回数	年1回	・平成28年11月12日(土)あうるすぽっと会議室において、読書感想文コンクールの表彰・発表会、読書活動と関連した英語活動の発表会を実施	A: 想定以上	想定以上の学校が参加し実施することが出来たため。	継続実施	指導課
4			点字図書館サービスのPR	点字図書館サービス(点訳・音訳・対面朗読サービス等)を紹介するパンフレットやCDを作成・配布し、特別な支援を必要とする子どもの利用を促進する。	特別とする支援者を必要とする児童	・パンフレットの作成 ・CD版パンフレットの作成	各1回	墨字版付き点字版リーフレットを作成し、障害福祉課、障害福祉サービス担当課に配布を依頼。	B: 想定どおり	墨字版付きの点字版のリーフレットを作成し、複数課に配布を依頼した。	定期的及び別媒体での製作を検討	図書館課

(2) 保護者や家庭に対する普及・啓発

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
5	重		乳幼児健診時の絵本の読み聞かせとブックリストの配布	乳幼児と保護者を対象に絵本の読み聞かせを行い、図書館利用のPRとブックリストを配付して家庭での読書を推進する。	乳幼児・保護者	・パパ・ママ準備教室 ・1歳6か月児健診	各12回	池袋保健所(パパ・ママ準備教室)と長崎健康相談所(1歳6か月児健診)で絵本の読み聞かせとブックリストを配付した。	A: 想定以上	1歳6か月健診時の参加者の前年度比増により、想定人数以上に対して普及・啓発ができた。	池袋保健所・長崎健康相談所で各12回絵本の読み聞かせとブックリストの配付を行う。	図書館課
6			ブックリストの作成・配布	乳幼児及び児童向けのブックリストを作成し、保育園、幼稚園、区立小学校等に配布するとともに、図書館で開催する行事などの機会に子どもや保護者に配布して読書活動を啓発する。	小・中学生・保護者	配付先施設数(保育園、幼稚園、区民ひろば、保健所)・区立小中学校(全校生徒)	改定時に配付	新学期に区立中学校全校生徒に、夏休み前に区立小学校全校生徒にブックリストを配付した。	B: 想定どおり	例年どおり小学生、中学生対象のブックリストの改訂を行った。	29年度ブックリスト編集検討会を開催し、乳幼児、小学生対象のブックリストを改定する。	図書館課
7	重	28新	子育てインフォメーション活用による図書館利用の促進<新規>	子育て中の保護者への情報発信として、子育てインフォメーションと連携して、図書館で主催する行事のパンフレットやブックリストを配布し、読書活動や図書館利用を促進する。	保護者	各種行事の情報提供	毎月行事チラシを配布	各館で開催する各種行事のチラシを子育てインフォメーションに送付した。	B: 想定どおり	子育てインフォメーションへのチラシ提供による図書館行事の周知を行った。	継続してチラシを送付し図書館行事の情報提供を行うことで、利用促進を図る。	図書館課
8			子ども向け図書館ホームページ充実による家庭における読書活動の啓発	保護者に読み聞かせのすすめや絵本の選び方、絵本やブックリストの紹介、おはなし会等の案内を掲載し、家庭における読書活動を啓発する。	高小校・生中・生保護者	特集棚の紹介	毎月(YAは隔月)	毎月、全館の特集コーナーのテーマや各館実施行事をHPで周知した。	B: 想定どおり	毎月の特集テーマと児童各種行事のお知らせをHPに掲載した。	各種行事や特集テーマを毎月HPに掲載する。	図書館課
9	重		大人のための子どもの読書を考える講座の開催	家庭教育学級の中で、保護者向けに子どもの読書活動を考えるきっかけとなるような各種講座を開催する。	保護者・家庭	参加人数	30人	28年度の家庭教育学級では、テーマとして取り上げることはなかった。	D: 未実施	未実施のため。	家庭教育学級等の中で、テーマとして取り上げるなど工夫したい。	学習・スポーツ課



No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
10	重		子どもスキップ保護者会等での子ども読書に関する啓発	保護者会等で、良質な長く読み継がれている本を紹介し、読書の意義や大切さを啓発する。	保護者	実施施設数	22施設	未実施	D:未実施	保護者会等では本の紹介等が困難であるため、啓発活動事業の手法を再検討する。	事業実施の可否を含め、効果的な方法を検討していく。	放課後対策課 (子ども課)
11	重		保育園を通じた保護者への子ども読書に関する啓発	保護者会や園だより等で、子どもが喜んで手にしている絵本や保育園で長く読み継がれている本などを紹介する。	保護者	絵本の紹介	全園で実施	・在園児の保護者向けの絵本の紹介は保護者会や園だより、クラス便りを利用して行った。	B:想定どおり	各保育園で工夫を凝らし、絵本を紹介しているため。	継続実施	保育課
12	重		保護者会等を通じた児童の読書活動に関する啓発	保護者会や学校だよりを通じて、子どもの読書活動の意義や大切さ、図書の情報等を提供する。	小保護生	図書だよりの発行	学期ごとに1回発行	・図書館だより、学校だより、学年便り等のツールを使って、保護者に読書活動の推進をよびかけた。	B:想定どおり	定期的に情報を発信することが出来ている。	継続実施	小指導校
13	重	28新	鬼子母神Plusにおける図書コーナー設置による啓発<新規>	池袋保健所1階に設置した若者向け健康情報スペースに、地域の書店等との連携で本屋さんの推薦図書や育児雑誌およびイクメン推薦図書コーナーを設置し、乳幼児と保護者向けに絵本を展示、紹介する。	区民	月替りで書籍紹介	12回	年12回展示のうち子ども向け展示3回 感染症に関する子ども向け絵本、パパの読み聞かせ絵本(落語)、クリスマス絵本	B:想定どおり	推薦図書を見た保護者が家庭で読むため書店に購入に行くなど啓発の効果がみられる。	継続実施	保健所

### (3) 子ども施設の職員等への啓発

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
14			区立図書館の講習会を活用した職員のスキルアップ	図書館主催の子ども読書に関する講習会を活用し、ひろば職員の読み聞かせ技術のスキルアップを図る。	ひろば職員	図書館講習会受講	10施設	平成29年2月17日(金)に開催の子ども読書に関する講習会「子どもと絵本(3歳～6歳頃)」に、区民ひろばの子育て担当職員17名が参加し、受講成果を日常業務に活かした。	A:想定以上	22施設中12施設から受講し、目標数を上回った。	7月開催予定の講習会に引き続き参加する。	地域区民ひろば課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
15		28新	読書に関する講習会の開催<新規>	電子書籍等の読書に関する新しい媒体について、適切な活用方法を学ぶ講習会を開催する。	区民ひろば課職員	講習会の開催	1回	講師の選定にあたり、候補者を絞り切れず実現できなかった。	D:未実施	区民ひろばにおいて、電子書籍等に関する情報が少なく、相応しい講習会講師の選定ができなかった。	講習会の持ち方を含め、再検討する。	地域区民ひろば課
16			児童・YAサービスの充実に向けた職員研修の実施	児童・YAサービスの向上のため、図書館課が主催する研修や専門研修等により職員のスキル、資質の向上に取り組む。	図書館職員	・子どもの読書に関する講習会(回数・受講者数) ・児童図書館専門研修(受講者数)	2回	子どもの読書に関する講習会を2回開催し、37名が受講、東京都児童図書館専門研修を4名が受講した。	A:想定以上	児童業務を新規で担当する職員増により、児童図書館専門研修受講者が例年より多かった。	子どもの読書に関する講習会を2回開催し、各館2名の受講者を割り当てる。	図書館課
17			子どもの読書に関する講習会の開催	年2回、子ども読書ボランティア、子ども施策関係部署職員、図書館職員等を対象に講習会を開催し、子どもの読書支援に関するスキルアップや資質の向上を図る。	関係部署区民職員	講習会	2回	子どもの読書に関する講習会を2回開催し、123名が受講した。	A:想定以上	講習会の内容が関係部署職員の業務に関連があり、2回目は参加者が定員に達した。	講習会を2回開催する。	図書館課
18			職員への読書に関する研修の実施	子ども家庭部内職員を対象とする「子ども福祉研修」で、子どもと本や読書に関わる研修を実施して、子どもの読書支援のスキル向上を図る。	職員及び区民	開催回数	1回	職員を対象とした子ども福祉研修にて「絵本で楽しく」を実施。、区民対象の子ども講座にて「絵本の世界」を実施。	B:想定どおり	保育園、スキップ、区民ひろば等、それぞれの職員が施設の利用対象児に合った絵本の活用方法や、子どもの成長と絵本の関係などを学ぶことができていた。	子ども福祉研修一回、子ども講座一回の実施予定。	子ども課
19			職員のスキルアップと資質の向上	「子ども福祉研修」はじめ各種研修や講習会等への職員参加により、本と子ども達を結びつけるためのスキルアップと資質向上を図る。	職員	・研修への参加 ・勉強会実施	全園で実施	・子ども福祉研修、東京都公立保育園研究会、東社協などで講習会がある場合は職員に対して積極的に参加を推奨した。 ・職場内で勉強会を行った。	B:想定どおり	積極的に研修会や勉強会に参加しているため。	継続実施	保育課

## II. 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

### (1) 子どもが身近で本にふれることができる環境の整備

#### 【乳幼児】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
20			地域区民ひろばの本のある環境づくりの推進	計画的な図書購入とリサイクル本の活用などで、子育てひろば等に本のある環境作りを行う。	関係機関	年度当初に図書購入予算措置	22施設	各ひろばに配当する子育て事業経費を活用し読書スペースの充実をはかった。	B: 想定どおり	区民ひろば毎の状況に応じ、本のある環境づくりを行った。	本のある環境を維持していく。	地域区民ひろば課
21			乳幼児向けブックリスト図書コーナーの設置	乳幼児向けブックリストに掲載されている絵本のコーナーを設置して、保護者や乳幼児が本を手取る機会を増やす。	乳幼児	乳幼児向けブックリストの掲載図書コーナーを設置	全館で設置	全館でブックリストの掲載本コーナーを設置し、利用促進を図った。	B: 想定どおり	ブックリストによる推薦と掲載図書コーナーとの連携により、図書館がおすすめする本を利用しやすい環境になっている。	ブックリストの掲載本の図書コーナーを全館で設置し、利用促進を図る。	図書館課
22			リサイクル図書の子ども施設での活用	区立図書館で除籍処理した図書を、希望に応じて子ども施設へリサイクル図書として提供し活用する。	小・乳・幼児・中学校	リサイクル図書提供施設数・冊数	区内保育園、幼稚園、区立小・中学校、子ども施設と連携	区内26施設に927冊リサイクル図書を提供した。	B: 想定どおり	リサイクル図書の有効活用を促進する。	子ども施設へリサイクル図書を提供をする。	図書館課
23			保健所の絵本コーナーの充実	乳幼児健診会場にブックリスト『ねえ、よんで』掲載図書の絵本コーナーを設置している。	乳幼児	健診来所者数	5,300人	常時20冊程度を入れ替えながら設置した。	B: 想定どおり	健診の待ち時間に自由に絵本を手に取り読んでいる。	継続実施	保健所
24	重		子ども家庭支援センターの絵本コーナーの充実	親子あそび広場、一時保育室、発達支援室に絵本コーナーを設置して、親子が本に親しむ環境を整備する。	乳幼児・保護者	各事業利用者数	52,000人	<東西センター共通事業> 一時保育利用人数 年間 4,799人 親子あそび広場利用人数(子どものみ) 年間 22,020人 <西部子ども家庭支援センター事業> 発達支援事業利用児童数 年間 5,253人	B: 想定どおり	各事業利用者数合計が28年度と大きな増減がないため	継続実施	子育て支援課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
25	重		保育園の家庭への貸出	各園に絵本コーナーを設置して絵本に親しむとともに、園児の保護者や地域の親子に絵本の貸出を行う。	地域の親子 保護者・園児	絵本コーナーの設置	全園で実施	各園の状況によって異なるが、玄関のスペースなどに貸出コーナーを設置し園児や保護者へ図書の貸出をしている。リサイクル本等を貸出すなどの工夫をした。	B: 想定どおり	絵本コーナーを設置していない2園のうち、1園は29年7月頃に絵本コーナーを設置する予定であり、1園は常時ではないものの期間限定で絵本の貸出等を行っているため。	継続実施	保育課
26			保育園の図書等の整備と充実	区立図書館の団体貸出利用やリサイクル図書の活用、近隣の方からの寄贈図書などを活用して、保育園の読書活動の整備を図る。	全園児	区立図書館のリサイクル図書利用、近隣の方からの寄贈。	全園で実施	・リサイクル図書を積極的に利用し、図書の充実や季節ごとの入れ替え等に活用した。 ・団体貸出を利用し、本と自然に触れ合う機会を作ったり、各園で各クラス毎に落ち着ける環境作りを工夫して、絵本が身近なものになるようにした。	B: 想定どおり	区立図書館の団体貸出をよく利用しているため。ただし、リサイクル図書については、図書館により声がかからないこともある。	継続実施	保育課
27			幼稚園の蔵書の充実	幼児の興味や教育内容に応じて、絵本等を購入し蔵書の充実を図る。	全園児	購入図書	40冊	園平均85冊	A: 想定以上	目標の購入数を大幅に超えたため	引き続き蔵書の充実を図る。	区立学務幼稚園
28	重		幼稚園の家庭への貸出	幼稚園が蔵書している図書を、家庭へ貸出す。	全園児	貸出回数	35回	・毎週1回程度、幼稚園が蔵書している図書を、家庭へ貸出している。	B: 想定どおり	各幼稚園の実態に応じて実施している。	継続実施	区立指導幼稚園

【小学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
29			郷土資料に関する資料の充実・公開・調べ学習支援	郷土資料館が収蔵資料を充実させるとともに、資料のデータベース化とその資料の公開による活用をすすめる。郷土資料の調べ学習に関する電話や窓口におけるレファレンスを行う。	小・中学生	随時	随時	生活資料や文書資料、受け入れ図書等約8000件のデータベース化を行った。調べ学習のレファレンスに随時対応を行うとともに、学校への出前授業を実施するなど、資料の活用を行った。	B: 想定どおり	区民の方から寄贈を受けた生活資料や文書資料を適切にデータ化し、必要に応じ、調べ学習のレファレンスや小学校3年生の社会科授業の「むかしのくらし」単元に対応するため、活用している。	継続実施	文化デザイン課
30			雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実	雑司が谷旧宣教師館に児童図書コーナーを設置し、「赤い鳥」等を収集し、見学者の閲覧に供する。	小・中学生	随時	随時	雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーで「赤い鳥」をはじめとする児童図書を閲覧に供するとともに、「赤い鳥」を語り継ぐおばあちゃんのおはなし会を毎月実施し、周知を行った。	C: 工夫や改善必要	雑司が谷旧宣教師館は年間約15,000人の入館者があるが、小中学生の入館はまだ少ないのが現状である。おはなし会を広く周知するなど、児童図書コーナーの活用を促していく必要がある。	継続実施	文化デザイン課
31			小学生向けブックリストの図書コーナーの設置と図書の充実	小学生向けブックリスト『よんでみよう』に掲載した図書のコーナーを全館に設置して、読書活動のきっかけを作る。	小学生	特集展示	12回	全館でブックリストの掲載本コーナーを設置し、利用促進を図った。	B: 想定どおり	ブックリスによる推薦と掲載図書コーナーとの連携により、図書館がおすすめする本を利用しやすい環境になっている。	ブックリストの掲載本の図書コーナーを全館で設置し、利用促進を図る。	図書館課
32			外国語図書等の整備・充実	外国語の絵本や日本人作家の外国語版の図書等を収集・所蔵して、外国人等の図書館利用の利便性を高める。	小・中学生	・外国語の絵本 ・日本の作家の外国語版	全館で購入	外国語絵本を全館で収集	B: 想定どおり	全館で所蔵	オリンピック・パラリンピック開催に向け計画的に充実を図る。	図書館課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
33			郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供	豊島区の歴史や民話、豊島区に関わる作家の作品等を積極的に収集・所蔵し、提供する。地域資料のデジタル化を進める。	小・中学生	郷土資料を収集	郷土資料を収集	未実施	D:未実施	29年4月実施に向け、駒込で郷土資料の一部の電子化を準備中である。	29年度に4館で郷土資料の一部をデジタル化を実施する。	図書館課
22			リサイクル図書の子ども施設での活用	再掲	小乳・幼児・中学校	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
34	重	28新	オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進<新規>	オリンピック大会の開催を機会に、世界各国の歴史・文化・習慣などを学び、知識や情報を得るための企画展示や関連図書をすすめて、読書活動を支援する。	小・中学校	企画展示	区立小・中学校図書館が連携して実施	選定会議でオリンピック・パラリンピック関連図書の収集を行った。	C:工夫や改善必要	関連図書の所蔵にとどまらず、企画展示の開催によりさらに読書活動に結びつける。	全館でオリパラ関連図書の所蔵数を増やすとともに、企画展示を行う。	図書館課
35			子どもスキップの読書コーナーの充実	子どもスキップの読書コーナーの蔵書を、区立図書館の団体貸出等を活用して充実させ、利用する小学生の読書活動を推進する。	小学生	実施施設数	22施設	9施設	C:工夫や改善必要	スキップ従事職員が少ない。このため蔵書を運ぶ手段を改善する必要がある。	事業実施における効果的な方法を検討していく。	放課後対策課(子ども課)
36	重		学校図書標準を基準とした学校図書館資料の充実	小中学校の学校図書館の蔵書を、学校図書標準を基準に整備・充実する。	小学生	学校図書標準	60%	各学校、学校図書標準の達成に向け、図書の整備充実を図っている。学校図書標準を満たした小学校の割合 55% (22校中12校)	C:工夫や改善必要	クラス増により年度当初目標の60%に達しなかったため。	70%~80%になるよう継続する。	学務課
					中学生	学校図書標準	60%	各学校、学校図書標準の達成に向け、図書の整備充実を図っている。学校図書標準を満たした中学校の割合 75% (8校中6校)	A:想定以上	年度当初の目標60%を大幅に超えたため。	70%~80%になるよう継続する。	学務課

【中学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
29			郷土資料に関する資料の充実・公開・調べ学習支援	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課
30			雑司が谷旧宣教師館の児童図書コーナーの充実	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課
37			YAコーナーの図書等の充実・優先閲覧席の設置	区立図書館に10代の子ども優先閲覧席を整備し、YAコーナーの図書等を充実させる。	中高生	優先席の設置	全館で設置	池袋図書館を除く6館で優先席を配置している。	B:想定どおり	施設内配置上、設置困難である。	池袋図書館は、平成32年度のリニューアル工事で優先席を設置予定。	図書館課
32			外国語図書等の整備・充実	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
33			郷土に関する図書資料等の収集の充実と提供	再掲	小・高 中 校 学 生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
34	重	28新	オリンピック・パラリンピックに関連づけた読書活動の推進<新規>	再掲	小・中学校	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
38			ジャンプ(東池袋・長崎)の読書コーナーの充実	ジャンプ2施設の読書コーナーを充実させ、利用する中高生読書活動を支援する。	中学生・高校生	実施施設数	2施設	①リラックスして読書が出来るように、畳を敷いたり、ソファを置くなど工夫した。②区図書館の団体貸出を利用した。③乳幼児対応「読み聞かせ」を実施した。	B:想定どおり	漫画を除き、20年以上経過した本やリサイクル本などが多いため、漫画以外の蔵書はあまり読まれていない。	ソファのシートを変える、20年以上経過して読まれていない本は廃棄するなどして、環境を整備する。	子ども課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
36	重		学校図書標準を基準とした学校図書館資料の充実	再掲	小学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	学務課
					中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	学務課
39	重		学級文庫の実施・充実	図書委員等が選書した図書を各クラスに備えた学級文庫に設置し、教室で生徒が身近に本に接する環境を整え、読書活動に結びつける。	中学生	学級文庫を設置	8校(区立中学校)	・学級文庫として図書委員おすすめの本10冊を教室置きにし、委員会の度に入れ替えを行った。	B: 想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中指導 学校課
40			学校図書館廃棄本のリサイクル	学校図書館の蔵書整理により廃棄になる図書のリサイクルコーナーを設置するなどして、生徒にリサイクル本を提供し読書活動につなげる。	中学生	リサイクルコーナーの設置	8校(区立中学校)	・年に1～2回、廃棄本コーナーを設け、希望する生徒に渡すなど、リサイクル活動をした。	B: 想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中指導 学校課

### 【高校生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
37			YAコーナーの図書等の充実・優先閲覧席の設置	再掲	中・高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
38			ジャンプ(東池袋・長崎)の読書コーナーの充実	再掲	中学生・高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	子ども課



【特別な支援を必要とする子ども】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
41			点字図書・録音図書(音声デジター)・テキストデジターや点訳絵本等の充実	視覚に障害がある子どものために、ボランティアの協力により点字図書、録音図書(音声デジター)、テキストデジターや点訳絵本などを作成・購入して、点字図書館の蔵書を充実する。	生徒・児童・保護者・家庭 特別な支援を必要とする	①図書資料の充実 ②技術の習得 ③点訳絵本の作成	①点字図書7タイトル ②デジター図書5タイトル ③点訳絵本2タイトル	受け入れタイトル数 点字図書 自館製作 6タイトル 厚労省委託図書 20タイトル 音声デジター 自館製作 12タイトル 厚労省委託図書 10タイトル テキストデジター 自館製作 1タイトル 点訳絵本 自館製作 4タイトル 音声デジター絵本 自館製作 1タイトル 厚労省委託絵本 4タイトル	A: 想定以上	製作ボランティアの協力により一定数以上の図書が完成した。	継続実施	図書館課
42	重	28新	マルチメディアデジターの充実 <新規>	障害があり通常の本では読書が困難な子どものために、マルチメディアデジターの活用により、読書環境を整備する。	生徒・児童・保護者・家庭 特別な支援を必要とする	マルチメディアデジターの充実	マルチメディアデジター資料の収集	2館でマルチメディアデジター図書の提供を開始した。	B: 想定どおり	導入を検討した2館で実施した。	29年度は4館でマルチメディアデジターを導入する。	図書館課

(2) 子どもと本をつなぐ施策の施策の充実

【乳幼児】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
43			読書啓発活動の推進	地域の図書ボランティア団体や職員が、乳幼児を対象としたプログラムの読み聞かせ事業を実施する。	ボランティア	ボランティアの受入	11施設	地域の図書ボランティアによる読み聞かせ事業の開催 ・22施設中15施設 ・延173回実施	A: 想定以上	実施施設数及び参加ボランティア数とも目標を上回った。	継続実施	地域ひろば課
44	重		区立図書館読み聞かせボランティア活用による読書環境の充実	乳幼児のプログラムで開催しているおはなし会に、区立図書館の読み聞かせボランティア派遣を活用する。	乳幼児 保護者	読み聞かせボランティアによるおはなし会の開催	15施設	区立図書館読み聞かせボランティアによるおはなし会の開催 ・22施設中16施設 ・延185回実施	A: 想定以上	実施施設数及び参加ボランティア数とも目標を上回った。	継続実施	地域区民ひろば課 図書館課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
45			子どものための文化体験プログラムの実施	アート系NPO 法人と協働して、子どものときに読んでほしい本を題材とした演劇公演を開催する。また、絵本を活用したワークショップや読み芝居による鑑賞教室、絵本を取り入れた保育園派遣型プログラムを実施する。	小・乳幼児 ・中学生	参加者数	乳幼児900人、小学生以上の区民2,780人	絵本を活用したワークショップや読み芝居『アラジンと魔法のランプ』による鑑賞教室、子どもに見せたい舞台「モモ」による演劇公演において3,249名の参加があった。保育園派遣型ワークショップでは、16園で延べ798名の園児が参加した。うち、3園は初実施の園で、より多くの園児が同事業の体験をした。	A: 想定以上	本を題材とした演劇公演や、ワークショップ、読み芝居、保育園派遣型プログラムワークショップ等を計画通り実施した。参加人数については、全事業の合計で、目標を大きく上回る結果となった。	読み芝居については親子での参加がしやすい日程を実現するため日曜日を中心に実施予定。引き続き子ども見せたい舞台では童話を原作とした作品を公演予定。保育園派遣型ワークショップでは、引き続き16園での実施。毎年、希望園が多いため初めて希望した園を中心に展開予定。	文化デザイン課
46			読み聞かせボランティアの養成と子ども施設への派遣	読み聞かせボランティアを計画的に養成し、人材バンクに登録するとともに、子ども施設への派遣をコーディネートしてボランティアの活動を支援する。養成後にはスキルの維持向上のためのフォローアップ研修も実施する。	登録ボランティア	・養成(隔年) ・養成人数 ・フォローアップ研修(隔年)	5日間(フォローアップ研修)	読み聞かせボランティアのフォローアップ研修を5日間実施した。	B: 想定どおり	「選書とプログラム」「パネルシアター」「わらべうた」の研修を実施した。	ボランティアの養成を行い、派遣施設数、派遣回数数を拡充する。	図書館課
47			自主的な読み聞かせボランティアの活動支援	自主的に活動している読み聞かせボランティアを対象に講習会を実施し、読み聞かせの技術の維持向上を支援する。	区民	講習会	2回	対象年齢別に「子どもと絵本」をテーマに、子どもの読書に関する講習会を2回実施した。	B: 想定どおり	2回実施し、募集定員に達した。	子どもの読書に関する講習会を実施して、ボランティアの技術向上を図る。	図書館課
48			「赤ちゃんおはなし会」など乳児向け行事の開催	乳児と保護者が一緒に楽しむことができる、絵本の読み聞かせやふれあい遊び等の「赤ちゃんおはなし会」を定例的に開催する。	乳幼児	赤ちゃんおはなし会実施回数	全館で月1回開催	全館で赤ちゃんおはなし会を定例的に開催した。	B: 想定どおり	定期的な開催で参加者が定着している。	中央図書館は、実施回数を拡充する。	図書館課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
49			おはなし会等幼児向け行事の開催	定期的な「おはなし会」とともに、子どもと本をつなぐきっかけとなる各種行事を実施する。	幼児・小学生	子ども向けおはなし会	全館で毎週1回開催	全館でおはなし会を定例的に開催するとともに、子どもと本をつなぐ各種記念事業を実施した。	C:工夫や改善必要	各種記念行事で実施したスペシャルおはなし会の参加者数が低迷している。	定例的なおはなし会を中心に、各種行事を開催して子どもと本をつなぐきっかけを作る。	図書館課
50			読み聞かせボランティア活用による「親子あそび広場」のプログラムの充実	ボランティア活用による読み聞かせを実施する。	乳幼児	読み聞かせ回数	45回	<東部子ども家庭支援センター> ・「おはなしもんたん」年 10回実施 ・「豊島親子の読書会」年 5回実施 ・「中央図書館読み聞かせ」年 6回実施 ・「りぷりんと」年 5回実施 <西部子ども家庭支援センター> ・「うりんぼうの読み聞かせ」年 12回実施 ・「ひまわりの読み聞かせ」年 11回実施 合計 年間49回実施	B:想定どおり	読み聞かせ実施回数は27年度と大きな増減がないため	継続実施	子育て支援課
51	重		絵本のプレゼント実施	妊娠中から1歳の誕生日までの妊婦向け事業・講座、育児講座等の参加者やバースデイ訪問などで絵本を配布し、読み聞かせや本に触れる機会を作る。	妊婦 1歳	・講座参加者、 ・バースデイ訪問者数	1,100人	<東西子ども家庭支援センター共通> ・育児訪問事業バースデイ訪問にて、対象児に絵本を1冊プレゼント実施。 年間 1,029人 ・妊婦向け講習会「ウェルカム赤ちゃん」、母親学級3回目(東部Cのみ)、ママのスマイル講座・パパの応援講座実施時に配布。 年間 434人 合計 年間1,563人	A:想定以上	講座参加者数、バースデイ訪問者数合計が 27年度より増え、配布数もそれに応じて増えたため	継続実施	子育て支援課
52			絵本の読み聞かせや行事の実施により、ものごとがたりや知識に触れる機会の充実	日常の保育の中に絵本の読み聞かせや紙芝居を取り入れ、また、自然を利用した行事を実施することで、想像力を育み、新しい知識を蓄える機会を作る。	園児	読み聞かせや知識に触れる回数	全園で実施	・絵本・紙芝居等の読み聞かせや自然・季節行事などの知識に親しむ活動を年齢に合わせて織り込み、日常的に実施した。	B:想定どおり	日常の保育の中で、絵本の読み聞かせは、よく行われているため。	継続実施	保育課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
53			地域の読書ボランティアの活用	読書ボランティアを活用したり、小中高校生との読書活動の交流で読書活動を推進する。	中学生・高校生 区民	受け入れ交流回数	60回	・中学生の職場体験の中で、園児への読み聞かせの場を提供し、実施した。 ・地域の中学生・高校生のボランティア活動、読書ボランティア活動の中で、園児への読み聞かせの場を提供し、実施した。	B: 想定どおり	地域ボランティアの方や職場体験の中学生に読み聞かせをしても良かった。回数はおよそ40回だが、目標値の2/3は超えているため。	継続実施	保育課
54			保護者による読み聞かせ活動の実施	「おはなしりんご」など各園のおはなし会で、保護者による読み聞かせを実施する。	全園児	実施回数	園により5～12回	・各学期2回程度、保護者による読み聞かせを実施した。	B: 想定どおり	各幼稚園の実態に応じて実施している。	継続実施	区立指導幼稚園

### 【小学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
45			子どものための文化体験プログラムの実施	再掲	小・乳幼児 ・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課
55			子ども向け郷土資料の作成支援	地域の昔遊びや豊島の子どもの文化、昔話を調査・収集し、地域のボランティアの著作・出版活動を支援する。	小学生	随時	随時	問い合わせ等に随時対応を行った。	C: 工夫や改善必要	地域の昔遊びや豊島の子どもの文化を伝えていくことは区の重要な責務であるが、聞き取り調査ができる方の把握が十分にできていない。	必要に応じて実施していく。	文化デザイン課
56	重		小学生向け行事の実施	定例的なおはなし会の他、季節にちなんだ「スペシャルおはなし会」や「映画会」、「工作会」等、子どもと本をつなぐ様々な行事を開催する。	小学生	全館で実施	全館で実施	全館で定例的なおはなし会を開催するとともに、映画会や工作会など子どもと本をつなぐ各種事業を実施した。	C: 工夫や改善必要	定例のおはなし会参加者の多数が未就学児で、参加者年齢が低年齢化している。	小学生を対象とした子どもと本をつなぐ各種行事を実施する。	図書館課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
57			学校訪問・学級招待・職場体験等による学校支援	学校訪問・学級招待・職場体験等を通じて、図書館の仕事や利用方法の紹介をするとともに、本の読み聞かせやブックトークなどで本を紹介して読書活動推進のきっかけづくりも行う。	小・中学生	・学校訪問 ・学級招待 ・職場体験	・学校訪問(小)128回 ・学級招待(小)9回 ・職場体験(中)70人・700冊	小学校への学校訪問114回、学級招待13回。職場体験85人(小学生40人。中学生45人)	B: 想定どおり	学校図書館との連携強化のために、公立図書館の支援体制を強化する必要がある。	学校訪問・学級招待・職場体験等の学校サービスによる読書活動のきっかけづくりを推進する。	図書館課
58			児童読書情報交換コーナーの充実	図書館利用者との読書情報交換のための掲示板を設置する。掲示板には、館内に設置した利用者の意見箱から収集した図書や読書に関する意見を掲示し、情報を提供し読書活動につなげる。	小学生	情報交換コーナーの設置を継続する。	情報交換コーナーを継続	情報掲示板を活用して利用者からの読書情報を提供している。	C: 工夫や改善必要	おすすめ本を利用しやすい環境づくりが必要。	29年度に配付予定の読書ノートのおすすめ本紹介カードも活用して、情報掲示板から読書活情報の発信を行う。	図書館課
59	重	28新	読書通帳の配布<新規>	読書通帳を作成し、区立図書館を利用する小中学生を対象に希望者に配布し、読書活動促進のきっかけづくりを行う。	小・中学生	区立図書館	区立図書館	29年度実施に向けて検討、準備を行った。	D: 未実施	2館(池袋・目白)実施に向け準備段階。	29年度6月に配付開始予定。	図書館課
60			読書の楽しさを伝える各種事業の実施	「子どもスキップ」の事業や放課後子ども教室のプログラムで、読み聞かせやストーリーテリングなどのおはなし会を開催し、読書の楽しさを啓発し、本と結びつけるきっかけづくりを行う。	小学生	実施施設数	22施設	14施設	B: 想定どおり	各スキップ並びに放課後子ども教室においてプログラムの充実を進め、効果が表れている。	継続実施	放課後(子ども課)
61			地域の読書ボランティア活用によるおはなし会の開催	子どもスキップや放課後子ども教室のプログラムや事業において、地域の読書ボランティアを受け入れて読み聞かせなどのおはなし会を実施し、読書活動を推進する。	小学生	実施施設数	22施設	12施設	B: 想定どおり	読書ボランティアの活用は長年にわたり地域密着型として定着している。事業方法に工夫が見られ効果が表れている。	継続実施	放課後(子ども課)

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
62	重		学校司書の配置	学校図書館に専門的な知識・経験を有する学校図書司書を配置し、資料管理や調べ学習など授業支援を充実させる。	小学生	配置日数	(区立小学校) 3週間で4日配置 1日6時間	・28年度より図書館課所属の非常勤職員を学校図書館に配置した。	A: 想定以上	委託職員に比べ1日の配置時間が増え、より教職員との連携が図れたため。	29年度より全校に非常勤職員を配置	小指導校課
63		28新	学校図書館への区立図書館司書の活用<新規>	区立図書館の図書館司書(非常勤職員)を区立小・中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援する。さらに、図書館資料の教員への情報提供と多面的な学校支援を展開する。	小・中学生	小学校配置 中学校配置	・区立小学校21校派遣開始	区立小学校21校、区立中学校1校へ区立図書館司書を配置した。	A: 想定以上	28年度目標の21校に加え、区立中学校1校に司書を配置した。	29年度に区立小学校22校、区立中学校8校の全校に司書を配置する。	図書館課 指導課
64			読書習慣の形成	「朝読書」「読書の時間」、学校独自の読書推進期間の設定などにより、学校活動における読書時間の確保と読書活動の習慣の確立を支援する。	小学生	全校一斉の読書活動の実施	月1校	・校内での読み聞かせ活動 ・図書委員会による読書紹介 ・栄養士と連携した「お話し給食」の実施 ・「図書館だより」の発行	B: 想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	小指導校課
65			図書委員会活動による読書活動の推進	図書委員会活動を活発にし、図書委員の主体的で継続的な読書活動により学校図書館の利用を促進する。	小学生	各校の実態に応じた活動を実施	各校の実態に応じた活動を実施	・常時活動して、図書館の本の整備、新着圖書の紹介、テーマに沿った本の紹介など、自主的な活動を推進している。	B: 想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	小指導校課

### 【中学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
45			子どものための文化体験プログラムの実施	再掲	小・乳幼児 中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	文化デザイン課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
66	重		学校訪問・職場体験等による学校支援	学校訪問・学級招待・職場体験等を通じて、図書館の仕事や利用方法の紹介をするとともに、本の読み聞かせやブックトークなどで本を紹介して読書活動推進のきっかけづくりも行う。	小・中学生	学校訪問学級招待職場体験	・学校訪問(小)128回 ・学級招待(小)9回 ・職場体験(中)70人・700冊	小学校への学校訪問114回、学級招待13回。職場体験85人(小学生40人、中学生45人)	B: 想定どおり	学校図書館との連携強化のために、公立図書館の支援体制を強化する必要がある。	学校訪問・学級招待・職場体験等の学校サービスによる読書活動のきっかけづくりを推進する。	図書館課
67			YA読書情報交換コーナーの充実	図書館利用者との読書情報交換のための掲示板を設置する。掲示板には、館内に設置した利用者の意見箱から収集した図書や読書に関する意見を掲示し、情報を提供し読書活動につなげる。	中学生・高校生	情報交換コーナーの設置を継続する。	情報交換コーナーを継続	情報掲示板を活用して利用者からの読書情報を提供している。	C: 工夫や改善必要	おすすめ本を利用しやすい環境づくりが必要。	情報交換コーナーを活用して、読書活動を推進する。	図書館課
59	重	28新	読書通帳の配布<新規>	再掲	小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
68	重	28新	YA向け読書活動促進行事の実施(仕掛け絵本のワークショップ)<新規>	ワークショップを開催して仕掛け絵本の立体的なしくみや紙の絵本の魅力を感じてもらい、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行う。	中学生・高校生	ポップアップカードのワークショップ開催	年1回	ポップアップカードのワークショップを開催した。	C: 工夫や改善必要	参加年齢層が対象より高年齢化傾向であった。	中・高校生への読書活動の動機づけとして各種行事を開催する。	図書館課
69	重		学校司書の配置	学校図書館に専門的な知識・経験を有する学校図書司書を配置し、資料管理や調べ学習など授業支援を充実させる。	中学生	配置日数	3週間で4日配置 1日6時間	・28年度より図書館課所属の非常勤職員を学校図書館に配置した。	A: 想定以上	委託職員に比べ1日の配置時間が増え、より教職員との連携が図れたため。	29年度より全校に非常勤職員を配置	中指導校課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
70	重	28新	学校図書館への区立図書館司書の活用<新規>	区立図書館の図書館司書(非常勤職員)を区立小中学校の学校図書館司書として活用し、学校図書館の運営や児童・生徒の読書活動を支援する。さらに、図書館資料の教員への情報提供と多面的な学校支援を展開する。	小・中学生	小学校配置 中学校配置	・区立小学校21校派遣開始	区立小学校21校、区立中学校1校へ区立図書館司書を配置した。	A: 想定以上	28年度目標の21校に加え、区立中学校1校に司書を配置した。	29年度に区立小学校22校、区立中学校8校の全校に司書を配置する。	図書館課 指導課
71	重		読書習慣の確立	朝、学級活動前の10分間の朝読書活動を継続的に実施するなど、読書習慣の確立を支援する。	中学生	全校一斉の読書活動の実施	月1回	・全校生徒が本の紹介カードを記入し、全作品を図書室や廊下に掲示した。 ・国語の授業内で朝の読書で読んだ本のブックトークを実施した。	B: 想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中指導 校課
72	重		ビブリオバトル等実施による読書活動の促進	授業や図書委員会のイベントとしてビブリオバトル等を実施するなど、読書の感想を伝える場を設定して読書活動の推進と学校図書館利用を促進する。	中学生	本を読んで思ったことを伝える授業やイベント等を実施	8校(区立中学校)	・国語の授業で、ビブリオバトルを実施した。	B: 想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中指導 校課
73	重		図書委員会活動による読書活動の推進	図書委員会活動を活発にし、図書委員の主体的で継続的な読書活動により学校図書館の利用を促進する。	中学生	各校の実態に応じた活動を実施	各校の実態に応じた活動を実施	・学級文庫として図書委員おすすめの10冊を教室置きにし、委員会の度に入れ替えを行った。 ・図書委員会で、しおりを作成し、本を借りた人、または上半期下半期などでクラス中一番多く借りた人などに、プレゼントした。 ・国語科の授業で、おすすめの本を紹介したり、よく本を読んでいる人を紹介したりした。 ・本にブックカバーをつけ、生徒用に和紙でカバーやしおりを作ったり、朝読書用のクラス設置本を毎月選んで入れ替えたり、ポスターやポップを作成し校内に掲示したりした。	B: 想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中指導 校課



No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
74	重	28新	プライベート読書時間の設定<新規>	プライベートな時間に、一定の時間や時間帯を〔読書の時間〕と決めて、読書することを生徒に推奨して読書習慣の形成を促す。	中学生	図書だよりの発行	学期ごとに1回発行	一定の時間や時間帯を〔読書の時間〕と決めて読書する。	B:想定どおり	各学校の実態に応じて実施している。	継続実施	中指導 学校課

### 【高校生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
67			児童・YA読書情報交換コーナーの充実	再掲	小・中学生・高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
75	重	28新	YA向け読書活動促進行事の実施(ビブリオバトル)<新規>	仕掛け絵本のワークショップや高校生を対象としたビブリオバトルなど、各種行事を通じて読書意欲や読書活動への動機づけを行う。	中学生・高校生	ワークショップ・ビブリオバトル	年1回	ポップアップカードのワークショップを開催した。	C:工夫や改善必要	参加年齢層が対象より高年齢化傾向であった。	中・高校生への読書活動の動機づけとして各種行事を開催する。	図書館課
76	重		学校訪問によるブックトーク等の実施	高等学校の要請により学校訪問を行い、ブックトークなどで10代に人気のおすすめ本を紹介し、図書館の利用や読書の動機づけを行う。	高校生	学校訪問	高等学校からの要請	未実施	D:未実施	申込がなかった。	高校からの要請により学校サービスを実施し、読書の動機づけを行う。	図書館課

### 【特別な支援を必要とする子ども】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
77			点訳・音訳・対面朗読サービスの実施	障害のある子どもからの申請に基づき、蔵書にないリクエスト資料について、ボランティアによる点訳・音訳・対面朗読サービスを実施する。	生徒・児童・特別な支援を必要とする	①図書資料の充実 ②技術の習得 ③点訳絵本の作成	①点字図書7タイトル ②デイジー図書5タイトル ③点訳絵本2タイトル	プライベート制作数 点訳 4タイトル 拡大写本 2タイトル	B:想定どおり	情報提供施設として、子どもが必要とする資料の点訳・拡大写本を製作した。	継続実施	図書館課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値 (28年度)	実施状況 (28年度)	所管課 の評価	評価理由	29以降の 実施予定	課名
78			点字図書館や点字啓発	通常学級の子どもを対象に、職場体験等のプログラムで点字図書館の業務内容を組み込んだり、夏休みに開催する点字教室で点字体験をする機会を設けるなどして点字図書館や視覚障害者への理解を深めるきっかけづくりをする。	小・中学生	・学校訪問・学級招待 ・中学生職場体験 ・特別支援学校の職場体験	・小学校3校 ・中学校2校 ・特別支援学校1校	子ども点字教室 8月6日開催 参加11名 学校訪問 小学校 2校 (点字教室を実施) 職場体験 中学校 1校 都立盲学校 1校	B: 想定どおり	各実施希望日・内容等を考慮し、体制を整え対応した。	継続実施	図書館課
79			特別な支援を必要とする子どものための読書機会の提供	区立小・中学校の特別支援学級や大塚ろう学校に学校訪問して、読書のきっかけづくりを行うとともに団体貸出を実施する。	小・中学校	学校訪問 団体貸出	学校からの要請	学校訪問2回 団体貸出677冊	A: 想定以上	図書館司書が区立小学校図書館に勤務したことにより、団体貸出冊数が増加した。	区立小・中学校の特別支援学級、大塚ろう学校への団体貸出を実施する。	図書館課
80		28新	マルチメディア活用による読書支援<新規>	区立小・中学校の特別支援学級への団体貸出に、マルチメディアを活用して読書支援を行う。	小・中学校	団体貸出	マルチメディア資料の収集	未実施	D: 未実施	未検討	資料収集の検討を開始する。	図書館課
81			特別な支援を必要とする子どもの読書活動の充実	乳幼児発達支援事業の療育活動において、絵本読み聞かせ等の読書活動を実施する。	障害児	通所指導時の読み聞かせ回数	480回	<西部子ども家庭支援センター> 発達支援事業 通所指導開所日数 449日 フォローグループ 開所日数 79日 合計年間528日	B: 想定どおり	開所日数に応じて回数は増えているが、療育活動の中の読み聞かせ頻度については変わらないため	継続実施	子育て支援課

(3) 区立図書館の活用を推進するための諸施策

【乳幼児】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
82			「としよ ねっと」便 の運行	区立幼稚園、区立小・中学校、区内六大学へ交換便を運行して、図書館の図書貸出利用の便を図り、読書活動を促進する。	幼児・小・中学生	運行回数	92回	区立幼稚園、区立小・中学校、区内六大学へ89回交換便を運行した。	B: 想定どおり	指定日での定期運行	区立幼稚園、区立小・中学校、区内六大学及び区民ひろばへ定期運行により、図書利用の便を図り、読書活動を推進する。	図書館課
83			団体登録 貸出制度 による児 童書の貸 出	団体登録貸出により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、その他子ども施設へテーマ別リクエストによる児童書の貸出をする。小・中学校へは団体貸出セットの貸出も実施する。	保育園・小・中学生	団体貸出回数	・80回 ・1,000回	保育園・幼稚園へ96回、小学校へ1,297回、中学校へ17回の団体貸出を行った。	A: 想定以上	小学校への学校図書館司書勤務により団体貸出回数が増加した。	29年度区立中学校図書館への学校図書館司書配置により、中学校への団体貸出回数を増加させる。	図書館課
84			乳幼児向 けブック リストの配 布	0～2歳児向け、3～6歳児向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、保育園、幼稚園や関係施設に配布して読書活動を啓発し、区立図書館の利用促進に結びつける。	保護者	配付先施設数(保育園、幼稚園、区民ひろば、保健所)	88所	30施設(区民ひろば、保健所、子ども家庭支援センター)へブックリストを送付した。	C: 工夫や改善必要	乳幼児対象のブックリストの改定がなかったため、幼稚園、保育園への配付は行わなかった。	29年度ブックリスト編集検討会を開催し、乳幼児対象のブックリストを改定する。	図書館課
85			子ども向 け図書館 ホーム ページの充 実	図書館ホームページの「こどもページ」と「10代のためのページ」を充実し、推薦図書の紹介、催し物の案内、調べ学習に関する情報等を掲載し、図書館利用や図書資料の利用を活発にする。	乳幼児・小・中学生	特集棚の紹介をする	毎月 (YAは隔月)	毎月(YAは隔月)特集コーナーをHPで紹介した。	B: 想定どおり	HPの活用を促進する。	HP活用により、図書館利用や図書資料の利用を活発にする。	図書館課

【小学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
82			「としよ ねっと」便 の運行	再掲	幼児・大学生 小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
86			団体登録 制度による 児童書の 貸出	団体登録貸出により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、その他子ども施設へテーマ別リクエストによる児童書の貸出をする。小・中学校へは団体貸出セットの貸出も実施する。	保育園・幼稚園 小・中学生	団体貸出回数	小学校1,000回 中学校24回	団体貸出回数は、小学校1,294回、中学校17回	A: 想定以上	小学校は学校図書館司書が配置されたことで、貸出回数が増加した。	団体登録制度により、保育園、幼稚園、区立小・中学校、子ども施設へ児童書の団体貸出を行う。	図書館課
87			小学生向けブックリストの配布	小学生向けブックリストを作成し、図書館で配布するほか、区立小学校や関係施設に配布して読書活動を啓発し、図書館の利用促進に結びつける。	小学生	区立小学校に配布	区立小学校全校児童	夏休み前に区立小学校全校児童にブックリストを配付した。	C: 工夫や改善必要	読書活動のきっかけづくりとして効果的な新ブックリストの編集検討を行った。	ブックリストを改訂し、効果的に読書活動の啓発と図書館利用を促進する。	図書館課
85			子ども向け図書館ホームページの充実	再掲	乳幼児・高校生 小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

【中学生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
82			「としよ ねっと」便 の運行	再掲	幼児・大学生 小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
86			団体登録貸出制度による児童書の貸出	再掲	保育園・幼稚園 小・中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
87			中高校生向けブックリストの配布	再掲	中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
85			子ども向け図書館ホームページの充実	再掲	乳幼児・小学生・ 中学生・高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

### 【高校生】

No.	重点事業	新規事業	事業名	事業内容	対象	主な指標	目標値(28年度)	実施状況(28年度)	所管課の評価	評価理由	29以降の実施予定	課名
87			中高校生向けブックリストの配布	再掲	中学生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課
85			子ども向け図書館ホームページの充実	再掲	乳幼児・小学生・ 中学生・高校生	再掲	再掲	再掲		再掲	再掲	図書館課

## 【 新規事業の計画 】

## 平成29年度

## Ⅰ 子どもの読書活動の意義や大切さの普及・啓発

## (2) 保護者や家庭に対する普及・啓発

事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画 (29～32年度)	課名
公民連携を活用したおはなし会の実施	西武百貨店屋上及び子どもフロアーや南池袋公園内カフェ(ラシーヌ)等の民間企業との連携によるおはなし会を実施することで、図書館の利用促進及び読書活動の大切さを普及・啓発する。	保護者・乳幼児	・公民連携おはなし会実施回数 ・公民連携おはなし会参加者数	毎年度実施	図書館課

## Ⅱ 子どもが読書に親しむ機会の提供と読書環境の充実

## (2) 子どもと本をつなぐ施策の充実

## 【小学生】

## ◎重点事業

事業名	事業内容	対象	主な指標	第三次計画 (29～32年度)	課名
読書ノートの配付による読書活動促進	区立図書館に利用登録のある小学生を対象に、読書ノートを配付することで、子どもの読書習慣促進のきっかけをつくる。	小学生	・図書館利用登録者数 ・区立図書館図書貸出冊数	毎年度実施	図書館課